

## 洪水ハザードマップ更新に伴う避難場所の見直しについて

洪水ハザードマップが更新されました。このハザードマップは、従来の手法に加えて「想定し得る最大規模（おおむね1000年に一度の確率で発生する大雨）」を前提として和歌山県が作成した浸水想定区域図に基づき更新されました。

この更新により、これまで洪水時の避難場所として指定していた一部の施設が、洪水に関しては指定解除となりました（※洪水以外の災害では引き続き利用できます）。

### ◆稲成公民館について

- 洪水時の指定緊急避難場所が解除されました。（洪水時の指定緊急避難場所ではなくなりました）
- ただし、「高齢者等避難」が発令された場合には、引き続き公民館を開設します。
- なお、洪水の危険が差し迫った場合には、稲成小学校等へ避難していただくことになります。

【問合せ】防災まちづくり課 地域防災係（本庁舎5階） [電話] 0739-26-9976

## 公民館の利用団体登録について

公民館の貸館には、原則として年度ごとに団体登録が必要です。4月1日以降の貸館を予約される際には、窓口にて団体登録をお願いいたします。

### ◆受付窓口（稲成公民館事務所）

〒646-8545 田辺市東山一丁目5番1号  
田辺市役所 本庁舎 5階 生涯学習課 公民館係  
[電話] 0739-26-4908



稲成公民館  
使用許可申請フォーム

### ◆予約の流れ

- ①団体登録（公民館の窓口にて申請・市内の公民館共通登録・一般団体は年度ごとに更新）
- ②仮予約（各公民館の窓口または電話にて、部屋の空き状況を確認し、仮予約してください。）
- ③本予約（各公民館の窓口またはインターネットにて申請し、予約を確定させてください。）

（稲成公民館使用許可申請フォーム <https://logoform.jp/f/cm7Cw>）

# 稲成公民館だより

## 令和8年4月号

未来へつながる道  
田辺市

【発行】稲成公民館  
【館長】倉谷 修治 【主事】小倉 拓  
【事務所】田辺市東山一丁目5番1号（本庁舎5階）  
【TEL】26-4908 【FAX】24-8323  
【館区の人口と世帯数】（令和8年2月末現在）  
3,163人（男1,506人・女1,657人）1,561世帯

## 必要であれば「やる!」しかない。 稲成公民館長 倉谷 修治

木々が芽吹き、穏やかに流れる風のやわらかさに、ふっと春を感じます。

さあ～。新しい年度の始まりです。小学校に入学される児童、中学・高校・大学などに進学される生徒・学生の皆様、そして社会人デビューされる皆様おめでとうございます。新しい環境に期待する反面、緊張や戸惑いを覚えることもあるでしょう。人生に挫折はつきもの、挫折したからといってそこで歩みを止めていたのでは何も見えてはこない。挫折や辛抱することも覚えてこそ、人は強くなれるのです。厳しい言葉かもしれませんが、要するに「あきらめないで!」あなたの人生は始まったばかり。「挫折を経験したことが無いものは、何も新しいことに挑戦したことが無いということだ。」by アインシュタイン

2月27日に「稲成公民館人権学習会」として映画「みんなの学校」が上映されました。舞台は普通の公立校である大阪市立大空小学校。ここには特別支援学校の対象となる子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子もみんな同じ教室で学びます。初代の木村泰子校長は「学校観」を転換する取組を始めました。「子供を育てる学校」から「子供が育つ学校」に。学びの主語は子供であり、子供の主体性を奪わない、奪われた主体性を取り戻す。学校は「ある」ものではなく「つくる」もの。そして子供が自分の学校を自分でつくる。保護者が自分の子供の学校を自分がつくる。地域住民が、地域の宝である子供たちが学ぶ学校を自分がつくる。教職員が自分の働く学校を自分がつくる「みんなの学校」。自分がつくる自分の学校、すべての人が学校をつくる当事者になり、人のせいにはしない学校づくりを始めたのでした。結果、いじめや不登校のない小学校ができたのです。独立行政法人教職員支援機構（NITS）のYouTubeチャンネルで、木村泰子校長が『前例踏襲を捨てたら常に「創造」。同調圧力を捨てたらみんな一緒だったらあかんねん。違っていいよじゃないねん、違ってなあかんねでって、違うことが当たり前やでって。「できるかできないか」ではなくて、必要だったら「やる」しかないじゃないですか。』と、おっしゃっていました。わかってはいてもなかなか実行に移せる人は少ないのでは。

さて、話は変わって新年のご挨拶で町内会長が「ばけばけ」の主題歌「毎日難儀なことばかり」を取り上げておりましたが、今まさに世界は「難儀」な局面に遭遇しています。一日も早い解決を願うばかりです。

## 人権学習会を開催しました

2月27日(金)、稲成公民館の人権学習会として、ドキュメンタリー映画『みんなの学校』を上映しました。これは、すべての子供がともに学ぶ学校づくりに挑む大阪の公立小学校を追ったドキュメンタリーで、子供たち・保護者・教職員・地域がどうつながり、学び合うのかを描いています。多様性や互いに受け入れ合うことについて考えるきっかけとなる作品でした。

アンケートでは、「とても感動しました。」「教育に関する仕事をしているので、とても勉強になった。」「親として参考になった。」「こんな学校があれば良いのと思った。」「まわりの大人みんなで作っていきたい。」など、とても好評でした。



## フルーツカッティングを学ぶ

3月11(水)、高雄中学校にて「第2回TSPフェスティバル」が開催されました。これは生徒会の役員(生徒)が自分たちで新しく企画したタカオ・スマイル・プロジェクトによって開催されたイベントで、今年で2回目となります。

今年はフルーツカッティング教室を行い、講師である新谷睦子さんの指導のもと、生徒と地域の方々が一緒になって学びました。単に切るだけでなく、形や繊維の向きを意識して切ることによって、見た目が華やかになり、食感や食べやすさも変わること、高さ・奥行き・向き・配色などを考えて盛り付けをすると印象が大きく変わること、そして無駄なく美味しく食べる工夫などを学びました。



## お天気と防災について学ぶ(むつみ町内会)

3月1日(日)、午後1時半から2時間弱。むつみ町内会館で、自主防災会主催の「お天気と防災」をテーマにした和歌山放送の気象予報士、引本孝之さんの講演が開催され、むつみ町内からの参加はもちろん、稲成町内からもご参加をいただきました。

この日は、串本の民間宇宙ロケット「カイロス」の打ち上げ予定日(残念ながら、中止)で、その取材を終えて駆けつけてくれたのですが、道路が非常に渋滞し、到着が開始予定時刻より30分ほど遅れたため、まず、防災グッズの抽選会からスタートしました。

災害と言えば、地震などをまず思い浮かべるとは思いますが、近年は日本のみならず、世界的にも異常気象が発生して、豪雨などさまざまな災害が起きています。

引本さんは、ご自身も体験した2011年の紀伊半島大水害の話などを絡めて、分かりやすくお話しくださいました。あらためて、早期の避難や、近所付き合いの大切さ、また、注意報を舐めてはいけなことなどを確認しました。

講演とは直接関係のない話題ですが、さくら公園前の防犯灯2灯に不具合が発生したため、先日、修理を行いました。町内の治安維持のための防犯灯の管理、電気代の支出などは、町内会が行っていることを、再度、紹介しておきます。



## 動鳴気峡整備作業を行いました(稲成町内会)

3月8日(日)、稲成町内会の役員等をはじめ地域の皆さまにご協力いただき、動鳴気峡の整備作業を行いました。

今回は「動鳴気峡 桜まつり」が月末に控えているため、会場周辺の草刈り等の作業を重点的に行い、イベントに来られた方が安全・快適に楽しめるよう整備しました。



先月号の初午祭の記事に「最後は餅まきで盛り上がりました」とありますが、今年は餅まきは実施されませんでした。お詫びして訂正いたします。